

2021 年度

学生研究補助（インターン）を募集している研究プロジェクト

プロジェクト名	レジリエントな産学連携とイノベーション・システムのためのエビデンスの収集と分析
代表者	隅藏 康一（政策研究大学院大学 教授）
専門性	特に問わないが、科学技術イノベーション政策や産業連携、社会調査に関する関心及び関連知識があるとなお可。
内容	<p>1. プロジェクトの概要 産学連携はイノベーションの礎として新たな技術や経済的価値を生み出す。本研究では、レジリエント（環境激変下でも強靱で持続的）な産学連携とイノベーション・システムのためのエビデンスの収集と分析を行う。</p> <p>2. インターンの業務内容 本研究では政策提言に向けて様々な作業を行いますが、中でもインターンの方には以下の仕事をお願いしたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 産業連携に関連するデータの収集、整理、分析 • 産業連携に関連する事例研究 <p>各種資料の収集、まとめ</p>
業務に必要なスキル	特に問わないが、統計ソフト(R, Stata, SPSS)を利用した基本的な分析のスキルがあるとなおよい。英文資料を読解してまとめるスキルがあるとなおよい。
身につく知識・スキル・経験	<ul style="list-style-type: none"> • 産業連携に関する国内外の政策動向に関する知識 • 公的なファンディングプログラムの設計に関する知識、経験 • データ分析の知識・スキルの向上

プロジェクト名	科学技術・イノベーション政策の経済社会効果分析の政策形成プロセスへの実装
代表者	池内 健太 (政策研究大学院大学 SciREX センター 特任フェロー)
専門性	産業連関表を使った経済学文献のサーベイを行うだけの経済学の知識を要する。科学技術イノベーション政策に関する知識があると尚可。 科学技術の産業への経済波及効果のシミュレーションを実際にやってみたい方を歓迎します。
内容	<p>1. プロジェクトの概要</p> <p>科学技術イノベーション政策の経済社会効果に関する政策面・研究面からのレビューを行うとともに、シミュレーションモデル等を基に、政策、施策、プログラム、プロジェクト等の各階層における科学技術イノベーション政策の経済社会的効果を算出するプロトコルを構築する。</p> <p>2. インターンの業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本および海外の政策文献レビューの作成、整理。 <p>科学技術イノベーションが経済に及ぼす影響を分析する経済モデルに関する経済学論文のサーベイ、整理。</p>
業務に必要なスキル	<ul style="list-style-type: none"> ワード・エクセル・パワーポイントの標準スキル (英語文献の読解力があるとなお良い)
身につく知識・スキル・経験	<ul style="list-style-type: none"> 経済モデルを用いて科学技術イノベーションによる経済効果を実際に算出し、政策に貢献するまでのプロセスに関する経験。 科学技術と社会の分野の海外の政策及び研究動向の知識 科学技術イノベーション政策に関わる研究者・行政官、その他関係者との人的ネットワーク